

記錄 編號	6305
狀態	NC094FJU00079008
助教 查核	
索書 號	
學校 名稱	輔仁大學
系所 名稱	日本語文學系
舊系 所名 稱	
學號	491246128
研究 生(中)	陳盈如
研究 生(英)	Chen Ying-Ju
論文 名稱 (中)	日台共學制度之研究-以對台灣人的影響為中心(1922-1937)
論文 名稱 (英)	A Research on the Japanese-Taiwanese Educational Desegregation during Japanese Colonial Period: Focused on its Influence upon Taiwanese People from 1922 to 1937
其他 題名	
指導 教授 (中)	何思慎
指導 教授 (英)	HE,SI-SHEN
校內 全文 開放 日期	不公開
校外 全文	不公開

開放日期	
全文不開放理由	
電子全文送交國圖.	同意
國圖全文開放日期.	2006.10.01
檔案說明	電子全文
電子全文	01
學位類別	碩士
畢業學年度	94
出版年	
語文別	日文
關鍵字(中)	殖民教育 日台共學 台灣教育令 殖民政策 同化政策 內地延長主義
關鍵字(英)	
摘要(中)	1895 年台灣因甲午戰爭而割讓給日本。日本接收台灣時，對於台灣混亂的社會秩序施予語言同化政策，期待盡速將台灣人日本化。對此，日本當局透過教育政策，以教授台灣人日語，來達成同化台灣人的目的。然而，日本在台灣所實施的教育政策，卻進行所謂的雙軌教育。亦即將台灣人與日本人區分，在兩個平行的學校系統下，個別實施教育。在此種雙軌教育制度下，台灣人在就學方面遭遇到許多不平等的待遇，就學率也因此相對地低落很多。而這樣的差別教育終於引起了許多台灣人的不滿。第八任總督田健治郎為了順應民情，且因為當時以 1919 年發生的朝鮮獨立運動為首，世界各殖民地受世界大戰後民主主義思潮影響，民族

	<p>自決運動澎派。對此種種，田健治郎乃發布第二次台灣教育令，以同化主義來安撫民心。此台灣教育令有別於 1919 年發布的台灣教育令，在制度上，取消了日、台教育系統的差別。其特色為「日台人共學」，亦即撤廢了至今存在於日、台人之間的差別教育。依此教育令，在台灣所實施的教育，不分日、台人，全部給予平等的機會。因此，在措施上改用「常用日語者進小學校，非常用日語者進公學校」，而中等以上學校則採日台共學制。本論文從日本領有台灣到實施共學制度為止，依據各教育政策將教育史劃分成三個時期。首先透過分析各時期的社會背景，探討日本當局所實施之殖民政策的重點。並且頗析各時期殖民政策與教育政策間之關聯性。尤其著重於共學制度實施後，針對就學狀況的數據，以及社會上所反應出來的現象加以分析，闡明此政策實施前後，對台灣人有何具體影響。</p>
<p>摘要 (英)</p>	<p>Taiwan ceded to Japan in 1895 because of the Sino-Japanese War of 1894-1895. After Taiwan was seized by Japan, Japan authorities implemented a policy of language assimilation in order to assimilate Taiwanese as soon as possible. Therefore, Japanese authorities educated Taiwanese Japanese to achieve the purpose of Taiwanese have Japanese character. However, in the beginning of Japanese colonial period, the education system implemented in Taiwan separated Japanese from Taiwanese. Under the two-track education system, Taiwanese encountered a lot of unequal treatment in going to school, and the education rate was very low. At last, such a difference raised dissatisfaction. In addition to, Taiwanese received the ideological trend of the democracy after the world war I and self-determination doctrine advocated by US President Wilson. Therefore, Taiwan governor palace announced the new Taiwan educational order in 1922. One of the new policies in this order was 'Educational Desegregation'; all people have the equal education chance. The purpose of this policy was for dispel the education difference between Japanese and Taiwanese. Basing on the education policies were implemented, this thesis divides the education history from 1922 to 1937 into three periods. This research analysis education policy in each period, especially focus on educational desegregation policy, and the influence on Taiwanese people.</p>
<p>論文 目次</p>	<p>日台共?制度についての研究?台?人への影響を中心に(1922-1937)? 目次 目次 I 表次 II 第一章 序論 1 第一節 研究動機と目的 1 第二節 研究方法、範?及び?容 3 第三節 先行研究と論文構成 5 第二章 領台初 期の教育 9 第一節 台??督府初期の教育方針 9 第二節 複線制の教育 制度 17 第三節 同化政策と後藤新平の無主義方針 30 第四節 小結 38 第三章 台?人教育の確立時代 40 第一節 台?教育令の制定由? 40 第二節 教育令による?校の?動 49 第三節 ?地延長主義と共?の試行 62 第四節 小結 75 第四章 新台?教育令時期 77 第一節 新教育令の制定 77 第二節 共?の真相 90 第三節 台?社?にもたらす影響 118 第四節 小結 125 第 五章 結論 127 付?一 台?教育令(大正 8 年?令第 1?) 135 付?二 台?教育 令(大正 11 年?令第 20?) 139 付?三 ?制一?143 ?考文? 150 表次表 2?1 台?公?校教育の?展(1898-1906) 25 表 2?2 台?小?校教育の?展(1897</p>

-1906) 27 表 2?3 台?人子弟の就?率 (大正 2 年度) 28 表 2?4 日本人子弟の就?率 (大正 2 年度) 29 表 3?1 台?公?校教育の?展 (1917-1920) 50 表 3?2 台?公立中?校における??年の各科目の?週教授時? 52 表 3?3 台??督府中?校における第二部の各?年、各科目の?週時?表 53 表 3?4 台?公立高等普通?校における科目の程度及び?週の教授時?表 57 表 3?5 女子高等普通?校の?況 (1919-1921) 61 表 3?6 大正 10 年度における台?人の共?生? 71 表 4?1 台?における中?校の台、日籍?生? (1939 年 4 月) 85 表 4?2 台?における高等女?校の台、日籍?生? (1939 年 4 月) 88 表 4?3 小?校の共??生? (1922-1937) 94 表 4?4 小?校における共?生?が占めた比率 (1922-1937) 95 表 4?5 小?校における正式教師の比率 (1922-1937) 102 表 4?6 公?校における正式教師の比率 (1922-1937) 103 表 4?7 小公?校の?常費と臨時費 (1922-1937) 104 表 4?8 小公?校における?校?、?級?及び?童?の?加率 105 表 4?9 小公?校における?常費の平均額 (1922-1937) 106 表 4?10 全台?における中?校の就??況 (1927 年) 108 表 4?11 年全台?における高等女?校の就??況 (1927 年) 108 表 4?12 各?校の入?率?中?校 (1929 年) 109 表 4?13 各?校の入?率?高等女?校 (1929 年) 111 表 5?1 植民時代における教育政策主な概要 127

**參考  
文獻**

?考文? 一、中?語 (一) ?行本 1.杜武志，《日治時期的殖民地教育》 (台北：北?文化，1997)。2.李園?，《日據時期台?初等教育制度》 (台北：?立編譯館，2005)。3.派翠西亞·鶴見著，林正芳譯《日治時期臺灣教育史》 (宜蘭：抑山文教基金?，1999)。4.??嘉，《日據時期之台灣殖民地法制與殖民地統治》 (台北：出版社不詳，1960) 5.??嘉，《春帆樓下晚濤急?日本對臺灣殖民統治及其影響》 (台北：台?商務印書館，2002) 6.謝南光，《謝南光著作選 (上)》 (台北：海??術出版社，1999) (二) 論文 1.申美貞，〈日據時期台灣與韓國教育政策比較研究?以 1922 年頒佈的新教育令為例〉 (?立政治大??史研究所，1997)。2.吳文星，〈日據時期臺灣總督府推廣日語運動初探〉 (《認識臺灣歷史論文集》，台北：國立臺灣師範大學歷史學系，1997)。3.吳玥瑜，〈日據時期台?同化政策之研究〉 (淡江大?日本研究所，1990)。4.林茂生，〈日本統治下台?的?校教育：其?展及有?文化之?史分析與探討〉 (台北：新自然主義，2000)。5.張?興，〈日本殖民統治時代台?社?的?化〉 (張炎憲?李筱峰?戴寶村主編《台?史論文精選》，台北：玉山出版社，1996)。 (三) 新聞記事と?誌 1.台?民報 (大正 13 年 10 月 1 日) 「共?制果有徹底麼?」第二?第 19?。2.台?民報 (大正 13 年 12 月 11 日) 「?於?台生徒之差別事件」第 2?第 26?。3.台?民報 (大正 15 年 1 月 24 日) 「植民地開放與教育方針」『台?民報』第 98? 4.台?民報 (大正 15 年 3 月 28 日) 「宜速?行義務教育」第 98? 5.台?民報 (大正 15 年 4 月 25 日) 「好個共?的恩典」第 94? 6.台?民報 (大正 15 年 4 月 25 日) 「?台人差別的人?試?」第 102? 7.台?民報 (大正 15 年 7 月 11 日) 「弱少民族的悲哀 (?) 在『一視同仁』 『?地延長主義』 『醇化融合政策』 下的台?」第 113? 8.台?民報 (大正 15 年 8 月 15 日) 「?上山?督的幾?希望」第 118? 9.台?民報 (昭和 3 年 2 月 12 日) 「日本人本位的教育 台?人難免失望」第 195? 10.台?民報 (昭和 3 年 3 月 25 日) 「比

科?更?的共?試?」第 201? 11.台?民報（昭和 3 年 3 月 25 日）「卒業生要何?去?人?難與就職難 台?青年的苦悶」第 201?。12.台?民報（昭和 4 年 2 月 24 日）「?校入?問題 均等公平的要求」第 249?。13.台?民報（昭和 4 年 3 月 24 日）「台?人的就職難 利害?有一致機?那得均等?」第 235?。14.台?民報（昭和 4 年 4 月 7 日）「義務教育即施要?市街地起」第 255?。15.台?民報（昭和 4 年 4 月 28 日）「須要??私?救?教育飢荒」第 258?。16.台?民報（昭和 4 年 11 月 3 日）「初等教育教員素質問題」第 285?。17.台?民報（昭和 4 年 12 月 8 日）「台?青年求?苦」第 290?。18.台?民報（昭和 5 年 4 月 5 日）「日就頹廢的教育界要刷新」第 307?。19.台?民報（昭和 5 年 7 月 16 日）李瑞雲、「台?的教育問題」第 322?。20.台?民報（昭和 5 年 8 月 23 日）「教育普及運動與自治並進決不可遷延」第 327?。21.台?民報（昭和 6 年 3 月 21 日）「日漸喪失的教育的機會如何補救挽回」第 356?。22.台?民報（昭和 6 年 12 年 5 日）「撤?差別待遇 促進?台融和」第 339?。23.吳文星〈教育篇?始終未能與日本人平等共?〉《日本文摘?太陽旗下的台?》第 9?第 4 期、1994、5。二、日本語（著者の五十音順）（一）?行本 1.伊藤博文『秘書類纂 18 台?資料』、（東京、原書房、1936）。2.許世楷『日本統治下の台?』、（東京、東京大?出版社、1984）。3.柯旗化『台?監獄島』、（東京、株式?社イ?スト?プレス、1993）。4.?昭堂『台??督府』、（東京、教育社、1988）。5.小熊英二『<日本人>の境界?冲??アイヌ?台??朝鮮 植民地支配から復?運動まで』、（東京、新曜社、2003）。6.駒?武『植民地帝?日本の文化統合』、（東京、岩波書店、2001）。7.蔡培火『日本々?民に与ふ』、（台北、?術出版社、1974）。8.蔡茂豊「中?人に?する日本語教育の史的研究」（東?大?、1977）。9.佐藤源治『台?教育の進展』、（アジア叢書 58 大空社、1998）。10.史明『台?人四百年史』、（東京、新泉社、1994）。11.杉山靖憲『台??代?督の治績』、（台北、成文出版社、1999）。12.鍾清漢『日本植民地下における台?教育史』、（東京、多賀出版、1993）。13.戴?輝『台?と台?人 アイデンティティを求めて』、（東京、研文出版、1980）。14.台?教育?『台?教育沿革誌』、（台北、古亭書屋、1973）。15.台??督府文教局『台?の?校教育』、（光明社商?、1941）。16.台??督府『詔?.令旨.諭告.訓達類纂(一)』、（台北、文成出版社、1999）。17.東???佐藤四郎『台?植民?達史』、（台北、南天書局、1996）。18.持地六三郎『台?殖民政策』、（台北、南天出版社、1998）。19.矢?原忠雄『帝?主義下の台?』、（東京、岩波、1997）。20.山田孝雄『?語の本質』、（東京、白水社、1943）。21.本山幸?『帝??議と教育政策』、（京都、同朋?、1981）。22.吉野秀公『台?教育史』、（台北、南天、1997）。（二）論文 1.金東琳「日本帝?主義の台??韓?地域における植民地教育政策の比較研究」（中?文化大?日本研究所、1992）。2.林波智「?日本台?植民地教育政策之考察」（中?文化大?日本研究所、2003）。3.莊幸如の修士論文「台?日據時代之教育?語?行?以公?校修身科為中心」（淡江大?日本研究所碩士在職專班、2003）。4.劉怡芬「日本植民地時期台?的高等教育之研究」（淡江大?日本研究所、2002）。（三）新聞記事と?誌 1.石田雄「『同化』政策

	と創られた?念としての『日本』(上)』『思想』、(岩波書店、1998)、893?。2.石田雄「『同化』政策と創られた?念としての『日本』(下)』『思想』(岩波書店、1998)、893?。3.?呈?「台?教育改造論」『台?青年』第3? 第1?。4.台?民報(昭和2年9月4日)「形式的教育に禍ひされる公?校就?率の低下 文教?局の努力を望む」第172?。5.台?民報(昭和2年9月18日)「入?試?の撤?と教育機?の均等」第174?。6.台?民報(昭和2年12月8日)「?端の教育政策 ?台融和の障害」第187?。7.台?民報(昭和3年4月1日)J生、「七年間の共?生活を回顧して」第202?。三、英語 1.Tsurumi,E.Patricia・Japanese colonial education in Taiwan , 1895-1945・Cambridge,Mass.,Harvard University Press,1977
論文 頁數	154
附註	
全文 點閱 次數	
資料 建置 時間	
轉檔 日期	
全文 檔存 取記 錄	
異動 記錄	M admin Y2008.M7.D3 23:18 61.59.161.35